

## ゴミ拾いでつながる、地域ネットワーク!

中央区米山にある「むらさき通り」では、毎月1日にゴミ拾い活動が行われています。これは、この地で多国籍料理店「TRIP TRIVE house」を営む高橋さんが、「地元のために何か貢献したい。」という気持ちから始めたものです。

その活動に賛同した参加者が集まり、街をきれいにし、地元自治会からも感謝されています。

自分が先陣を切ってエコ活動を行うのは難しいかもしれませんが、しかし、正しい活動をしていれば、同じ思いをもった仲間たちが集まってくるものですよね。

ちなみにこのお店、何を食べても美味しいのでぜひ行ってみてください。

## 「Eco列車でいこう!」～第92回 高野辰之と外湯、野沢菜漬の旅～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

「菜の花畠(ばたけ)に入日薄れ」で始まる唱歌「おぼろ月夜」。自然描写がすばらしいこの曲の作詞家「高野辰之」は北信州生まれで、晩年を過ごしたのが野沢温泉である。辰之の足跡と外湯めぐり、本場の野沢菜漬を楽しみに、日帰り旅を企画した。

1月9日(月・成人の日)。「長岡」7:27発の戸狩野沢温泉行のディーゼルカーは1両だ。「十日町」「津南」と、日本屈指の豪雪地帯に行く飯山線であるが、この時期にしては雪が少ない。旅行者としては少々もの足りないが、土地の人は喜んでいるであろう。

車窓には寒々しく信濃川が流れる。県境の駅「森宮野原」は昭和20年に7m85cmという日本で最深の積雪量を記録した駅であるが、今日は30cmくらいだろうか。ひなびた風景の中を走り、9:45「戸狩野沢温泉」着。北陸新幹線が開通するまでは、ここが野沢温泉へ下車駅であったが、現在は新幹線が停まる「飯山」が下車駅となっているので紛らわしい。すぐに発車する長野行ディーゼルカーに乗り換えて、2個目の「北飯山」で下車、国道に出て、飯山発野沢温泉行のバスを捕まえた。

野沢温泉に到着したのが、10:30頃。この温泉には13か所の共同浴場(外湯)があり、湯巡りができる。野沢菜おやきを食べながら、温泉街を散策し、代表的な外湯「大湯」へ。「あつ湯」「ぬる湯」2つの浴槽があり、「ぬる湯」に入る。思わず「熱い!」と声が出る。44度くらいあるのではないかと「あつ湯」には入らないし、入れない。

5分も浸かっているとポカポカである。蕎麦屋に入り、ビールと野沢菜漬で一杯。×は十割のざるそばだ。気分が良くなって「おぼろ月夜の館」へ。「ふるさと」「春が来た」「春の小川」「紅葉」など、抒情的な詞を多数残した高野辰之の資料館をじっくりと見学し、辰之の穏やか、かつ人情味のある性格に好感を持った。

その後、長いエスカレーターを登ってスキー場の入り口に行ってみたり、カフェで休憩してビールと地産のおつまみを楽しんだり、「熱湯コマール」のような、誰も入れないほど熱い外湯にびっくりしたりと、野沢温泉を存分に味わった。

15:10のバスで温泉街を離れ、夕闇迫る飯山線で、信濃川を見ながら一献し、帰途に着いた。

(写真左:「森宮野原駅」)

(写真右:野沢温泉「大湯」)

